



②



③



①



⑤



④

『国見のたからもの』No.32



国見石の石切り場跡（所在地：大字森山字西国見地内）

江戸時代末期頃から町内で採石が盛んになり、最盛期には12カ所程の石切り場が存在したと言われています。国見石は町内で採れる石材の総称で、かつては採掘地の地名から小坂石、山崎石、石母田石などと呼ばれ、柔らかくて加工しやすく、火に強いので、石蔵やかまど等の材料に使われました。特に石蔵は「富裕の象徴」として所有することがステータスであり、安価に短期間で建てられることから広く普及し、現在でも町内に500棟以上あり、国見町固有の景観を形成しています。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎585-2967】

冬空を彩る光の共演

あつかし山ビッグツリー

①ビッグツリー点灯とともに夜空には花火が広がった ②キャンドルパーティーでは奥山家洋館がグリーンアリーナに出現 ③キャンドルにあかりを灯す参加者 ④イルミネーション受賞者のみなさん ⑤点灯式を盛り上げた∞Zのライブ

午後5時になると、ビッグツリー点灯のカウントダウンが始まり、関係者が点灯スイッチを押すと、標高289メートルの阿津賀志

冬
の
風
物
詩
ビッグツリー点灯
今年で24回目となった「あつかし山ビッグツリー」の点灯式が12月23日、上野台運動公園で行われました。点灯式に併せて「明日へ。復興・きずないイルミネーション」の表彰式が行われ、受賞者のみなさんへ佐藤正春実行委員長と太田久雄町長から記念品が手渡されました。また、会場内ではキャンドルパーティーも行われ、県北中学校美術部デザイン部のトナカイの角が生えたくにみももさんと奥山家洋館がキャンドルで描き出されました。キャンドルの幻想的なあかりに包まれながら、福島県や宮城県を中心に活動している∞Z（ゼロゼロゼット）のライブも行われ、点灯式を盛り上げました。

「明日へ。復興・きずないイルミネーション」受賞者(敬称略)
▼とつてもすばらしいで賞【団体】有限会社斎久設備【個人】吉田勝美▼とつてもきれいで賞【団体】国見町商工会青年部【個人】黒田義男▼びっくりぽん賞【団体】JFEエンジニアリング、有限会社後藤設備、株式会社荏原風力機械【個人】三の輪俊幸、安藤典夫、武田功

山山頂に光のシルエットが浮かびあがりました。同時に打ち上げられた約200発の花火が冬の夜空を彩ると、会場からは歓声があがりました。点灯式後には、商工会青年部から子どもたちへお菓子のクリスマスプレゼントや温かいスープもふるまわれました。
あつかし山ビッグツリーは今年も、町建設業協会と管工事組合のみなさんの協力により設置されました。寒空の下での作業がビッグツリーの「あかり」を支えています。

～今月の表紙～



あつかし山ビッグツリー点灯式が12月23日に行われ、点灯式では花火が打ち上げられました。

2	年頭のごあいさつ
4	目次
5	あつかし山ビッグツリー点灯式
6	道の駅国見あつかしの郷情報
8	「東京くみみ会」「国見町応援大使」
9	「クリスマス会」「こどもまつり」
10	町人行政の運営等の状況をお知らせします
12	復興のあしおと
13	まちのサークル（国見パソコンクラブ）
14	小さな天才たち（くにみ幼稚園）
16	まちのわだい
18	保健だより
22	くらしの情報
24	生涯学習つうしんカレンダー

目次